

ホワイトカラー会社員の転職の本音

転職したいと感じるきっかけ、1位「学べることがない」

人材紹介会社 ロバート・ウォルターズ・ジャパン調べ

グローバル人材の転職を支援する人材紹介会社のロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：ジェレミー・サンブソン）は4月2日、英語力と専門スキルを活かして働くホワイトカラー会社員を対象に「転職の本音」を調査したアンケート結果を発表しました。

転職で得たかったもの、1位「高い年収」、2位「チャレンジ・成長」、3位「ワークライフバランス」

過去5年以内にグローバル企業に転職したハイスキル人材554人に、前回の転職で得たかったものを聞いたところ、1位「前職よりも高い年収」（61%）、2位「チャレンジ・成長」（55%）、3位「ワークライフバランス」（36%）という結果になりました。賃上げが鈍い一方で、優秀な人材の採用には高い予算を投じる会社が増えているため、転職を「年収を上げるチャンス」と考えたプロフェッショナルが多いことが覗えます。また、新たなことへ挑戦し成長したいというホワイトカラー会社員も増えているのかもしれませんが。

転職を考えた理由：1位「学びがない」、2位「昇進・昇給がない」、3位「人材価値が下がる」

また転職したいと感じるときを問う質問へは、1位「学べることがない」（48%）、2位「留まっても役職・給与が上がらない」（45%）、3位「人材価値が下がる不安を感じた」（38%）が上位を占めました。上司グループ、部下グループそれぞれの結果を見ると、部下グループでは「学べることがない」が、上司グループでは「留まっても役職・給与が上がらない」がそれぞれ多くの共感を集めて1位に着けました。また、部下グループでは「人間関係でストレスを感じた」（42%）、上司グループでは「自身の人材価値が落ちる不安を感じた」（37%）がそれぞれ3位に着けました。ここでは立場の違いが結果に色濃く写っています。意外にも「残業が多い」ことを機に転職を考えた人はわずか10%に留まりました。

50歳以上でも「チャレンジ・成長」志望、30-40代はワークライフバランスも重要視

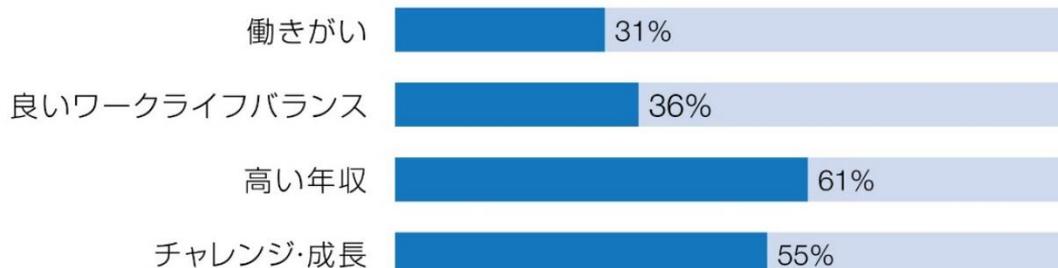
「前回の転職で得たかったもの」に対する回答を年齢グループごとに見ると、20代の若手世代はもとより50歳以上のシニア世代でも回答者の5割以上が「チャレンジ・成長」が得たかったと回答していることから、年齢や世代にかかわらず成長意欲の高さと挑戦への積極的な姿勢が分かります。また、年齢が下がるごとに「高い年収」、年齢が上がるごとに「働きがい」の回答が増えていることも分かります。30代、40代のグループではワークライフバランスを求めて転職した人が4割近く、復学・結婚・子育て・介護などライフステージの変わりやすい年齢なことにも起因しているのかもしれませんが。

(実施期間：2019年3月5日～2019年3月12日、対象：外資系企業やグローバル展開の進む国内企業で働く日本人正社員 n=554人)

転職で得たかったのは？

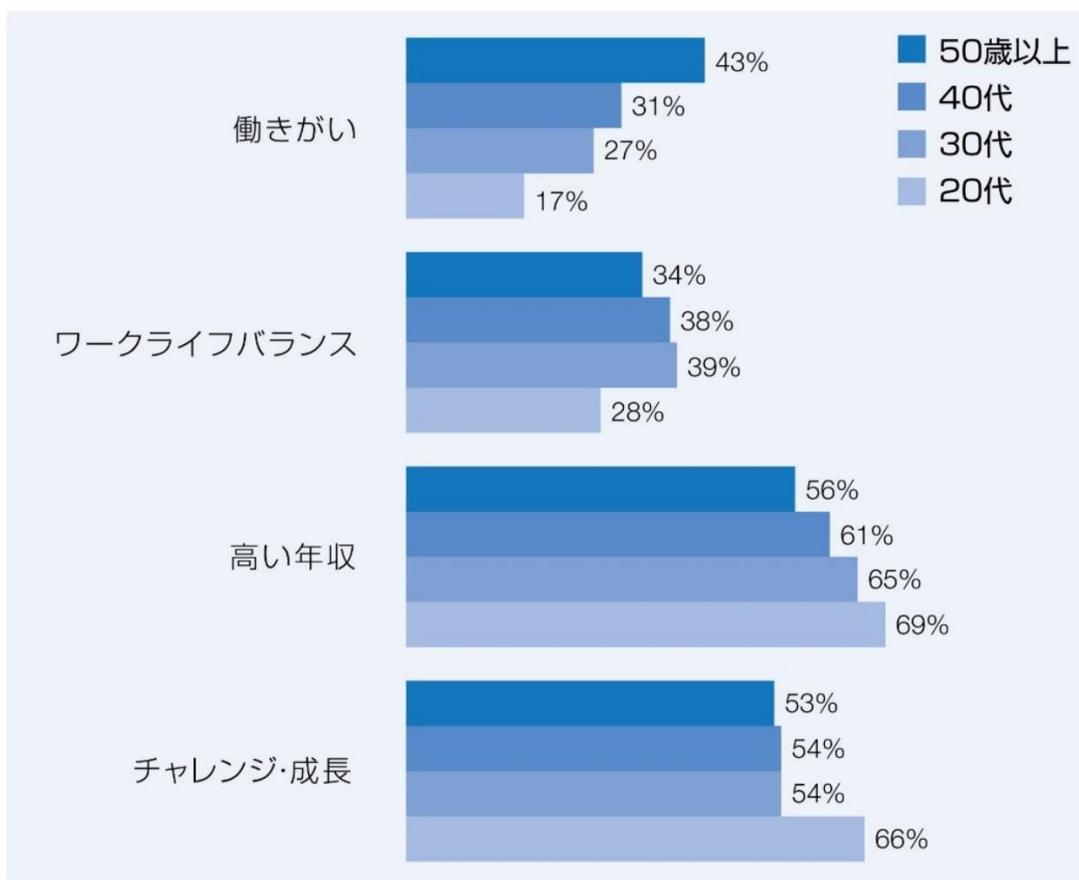
(2つまで選択)

全体



転職で得たかったのは？

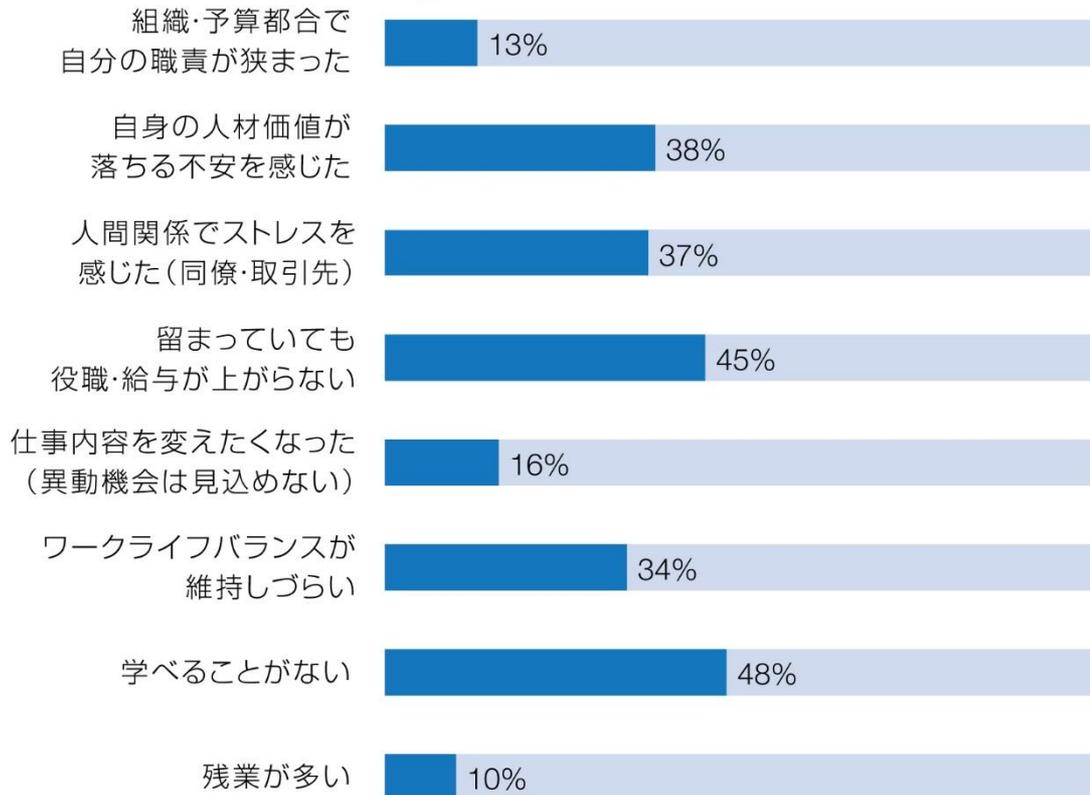
(年齢グループ別:2つまで選択)



次のうち転職したいと感じるのはどんなとき？

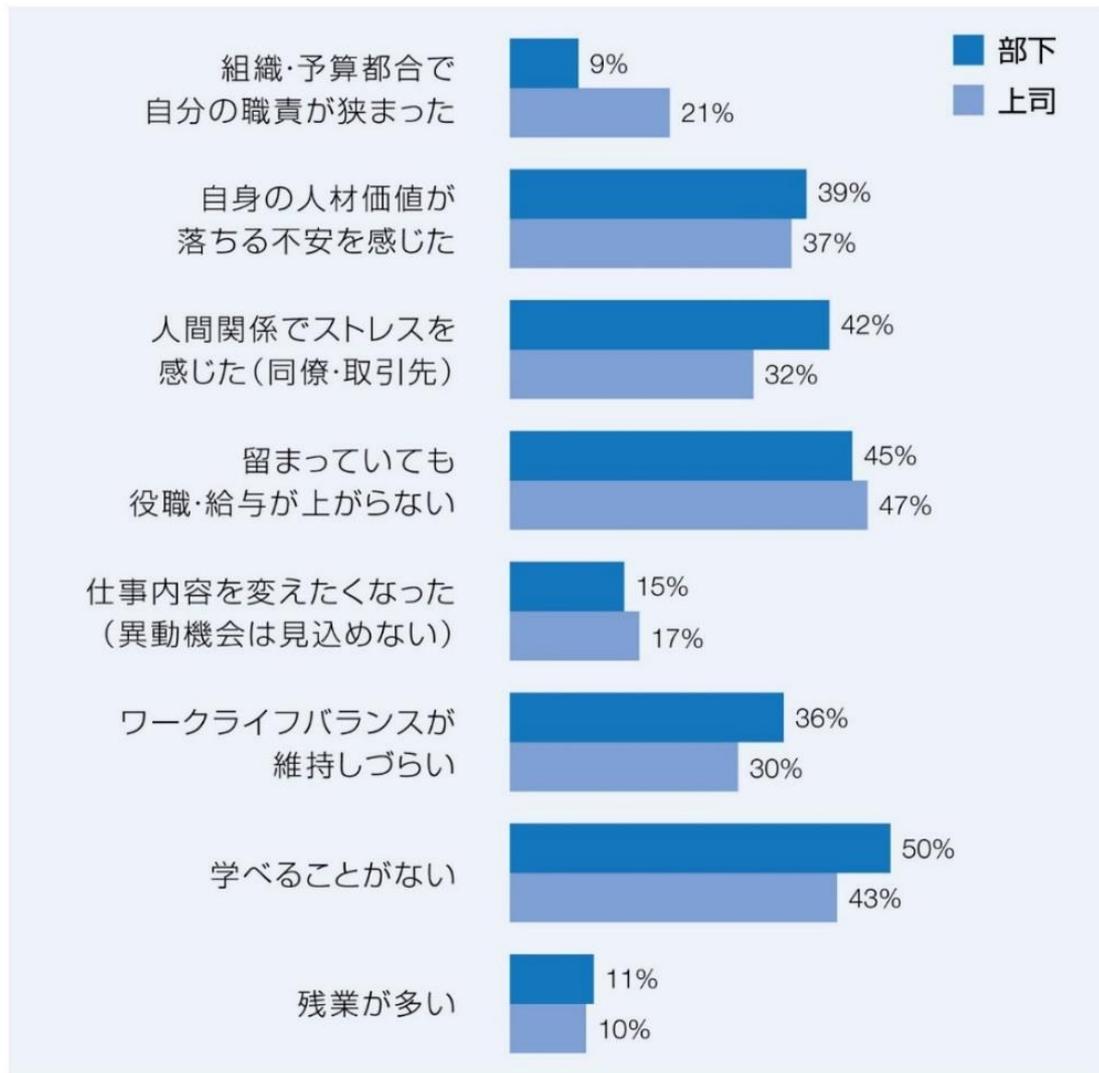
(3つまで選択)

全体



次のうち転職したいと感じるのはどんなとき？

(上司・部下:3つまで選択)



ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社について (<https://www.robertwalters.co.jp/>)

ロバート・ウォルターズは1985年に英国・ロンドンで設立され、世界30カ国/地域の主要都市に拠点を持つ、スペシャリストのためのグローバル人材紹介会社です。ロバート・ウォルターズ・ジャパンは同社の日本オフィスで、バイリンガル人材に特化しています。2000年に東京オフィスを、2007年には大阪オフィスを開設。グローバル企業、日系企業ともに世界有数のトップ企業から新規参入企業、中小企業に至るまで、多岐に渡る業種・職種、正社員および派遣・契約社員と幅広い採用ニーズに応えた人材紹介をおこなっています。ラグビー日本代表のオフィシャルスポンサー、各種NPOの支援など日本社会への貢献にも積極的に取り組んでいます。

<本件に関するお問い合わせ先>

ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社 広報

TEL : 03-4570-1500 e-mail : info@robertwalters.co.jp